

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の記者会見では、5つの項目について発表させていただきます。

初めに、令和7年第4回市議会定例会提出議案についてです。記者会見資料1の1ページをご覧ください。

本定例会に提出予定の議案は、条例の制定及び改正、補正予算、指定管理者の指定、損害賠償の額を定めることなど、全17件であります。

それでは、令和7年第4回定例会提出予定議案のうち主な議案につきましてご説明を申し上げます。

2ページをご覧ください。

議案第69号は、市を代表する歴史的建造物であり国指定重要文化財である牛久シャトーを保全、活用するとともに、市民に憩いの場を提供するため、新たに市の文化観光公園として牛久シャトーを位置づけ、設置管理する条例を制定しようとするものであります。

3ページをご覧ください。

議案第72号は、国への人事院勧告に準じて、給料月額を平均3.3パーセント引き上げるなどの改正であります。

5ページをご覧ください。

議案第79号は、令和7年度牛久市一般会計補正予算（第6号）でありまして、現計予算額に4億4,754万9千円を追加し、予算の総額を338億3,666万6千円とするもので、歳入歳出予算、繰越明許費、債務負担行為、及び地方債について補正するものであります。

議案の詳細につきましては、このあと、担当部長よりご説明いたします。

次に、本定例会の議案に関係する案件で、市出資団体に関するものを3項目説明させていただきます。

まず、牛久シャトー株式会社事業再生計画の市における決定及び牛久シャトー設置管理条例案についてでございますが、7月に有識者会議から提出いただきました事業再生計画につきまして、民間他社の活力を活用する方法を、民間他社と牛久シャトー株式会社が共同事業体を構成し、当該事業体が運営を担う方法によることを想定しておりましたが、答申後の関係者との協議を踏まえ、牛久シャトー株式会社から民間他社への業務委託方式により行うこととして、修正を行い、市の計画として決定いたしましたので、発表させていただきます。

また、この計画において、定めることとしております条例につきまして、先ほど申し上げましたとおり、本定例会に議案として上程させていただきます。

あわせて、条例制定月以降の市から牛久シャトー株式会社への施設に係る賃貸料を無償化する歳入補正予算を上程いたします。

次に、「牛久都市開発株式会社への運営資金貸し付けに係る貸付要項の見直し等について」ですが、平成31年に牛久市から牛久都市開発株式会社へ貸付を行った4億円の償還計画について、同社より、償還期間を見直して欲しい旨の申入れがあったことから、今回、この申入れを認め、貸付要項を見直すとともに、当該償還金の歳入予算を減額する補正予算を12月補正として上程するものです。

次に、市が、平成２３年に耕作放棄地の解消と担い手の育成を目的に設立いたしましたうしくグリーンファーム株式会社について、今般、今後の事業の可能性等を総合的に判断した結果、令和７年度末をもって農業部門の事業を撤退することいたします。

また、エネルギー部門についても、今後、縮小いたします。

このため、同社の存続については、会社の清算を視野に、今後の農業部門の事業整理の状況を踏まえて、事業の移管又は整理について、検討してまいります。

以上の内容の詳細につきましては、このあと、担当部長よりご説明いたします。

最後に、茨城ロボッツと牛久市で行う、心のバリアフリープロジェクトの開催についてです。

記者会見資料５の２ページをご覧ください。

今回、茨城ロボッツさんと連携して、様々な年代の方々に、それぞれの視点から車いすを体験していただき、車いすへの理解を深め、「親子」で勉強していただくため、プロジェクトを開催いたします。

その内容ですが、市役所や駅、観光地である牛久シャトー周辺で車いすでのフィールドワークにより、バリアフリー情報をアプリ上でマップに記録していただくものです。３ページをご覧ください。

この活動は、全国のＢクラブが地域課題の解決に取り組む活動支援である「地域モデル事業」に選ばれており、

今回、牛久市が茨城ロボッツとのフレンドリータウン協定を締結していたことなどから、茨城ロボッツより打診いただき、市としての開催を決定したものです。

マップの作成により、様々な方々が、より安心して牛久市を楽しむことができるようになることで、市の障がい福祉向上に寄与するものと考えております。

4 ページをご覧ください。

開催は、11月30日 日曜日、午後1時からで、牛久保健センターからスタートし、プログラムの後半に、車いすバスケット日本代表の香西(こうざい)選手による、『競技用車いす体験』や、今回の開催に携わっていただいた大学機関・医療機関のメンバーの皆様と振り返り会などを予定しております。

今回の開催を契機に、今後、市内のバリアフリーマップの作成を進めてまいりたいと考えております。

ぜひ取材方お願い申し上げます。

私からの発表は以上です。